

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	農業振興対策補助事業				担当課	農政課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	農業振興係・農業担い手係
施策項目	1	農業			計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	担い手の育成・確保			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	6	1	3	農業振興対策補助事業	

目的と方針【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。		
事業概要【PLAN】	農業の振興を図ることを目的に、農業団体、営農集団、農業法人、認定農業者、企業等に対し予算の範囲内で補助事業を行います。		
対象【PLAN】	農家	意図【PLAN】	農業の担い手が継続的に安定して営農が続けられている。他産業と比べて儲かることができればなお良い。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	営農継続及び新規就農に必要な各種補助事業や委託事業を適切に推進する。必要に応じて改善を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	29,563	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		100	100	1,140			
	一般財源	千円		4,123	10,367	10,215			
	事業費合計	千円		4,223	40,030	11,355			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ふくしま未来農業協同組合及び市内直売所での販売額		千円	実績値が目標値以上となること	目標値	9,200,000	9,400,000	9,600,000	9,800,000	10,000,000
				実績値	9,755,294				
				達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				国内農業の維持・拡大は、食料自給率向上、食料安全保障の確立、国消国産の観点からも国策の第一である。市民ニーズ（農家ニーズ）はもとより担い手の営農継続と規模拡大は最も優先されるべき施策であり、社会的需要が非常に高い。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				直接的に補助金を交付する事業が多く、市民満足度（農家満足度）、社会的貢献度は非常に高い。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				ロシアのウクライナ侵攻に端を発する世界的な資材高騰は、それまでの円安による輸入原材料の値上り基調と相まって農業経営を直撃している。今後、紛争が終結することや世界的な円の復権でもない限り、当該事業費は増額されることはあっても減額されることはほぼないと見るべきである。				

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		本市農業をけん引する中心的な経営体である認定農業者を中心として、各種支援を行ってきた。農業機械購入費の補助といった分かりやすい支援と比較して、農業共済掛金補助は見えづらい部分もあり、今後、周知等に関して課題が残った。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	農地集積・集約化対策事業					担当課	農業委員会				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	農地係			
施策項目	1	農業					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	1	担い手の育成・確保					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	6	1	1	農地集積・集約化対策事業						

目的と方針 【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	担い手（効率かつ安定的な経営を営む者）へ農地の集積を図るため、市が策定する地域計画に基づき、農業委員、農地利用最適化推進委員の仲介及び農地中間管理機構の活用により農地の利用改善及び集積を図ります。
----------------	--

対象 【PLAN】	担い手農家、農業に参入している法人及び新規就農者	意図 【PLAN】	農地中間管理事業等を活用し、担い手農家・新規就農者等の効率的・安定的な農業経営確立等を図ると共に、遊休農地の解消と有効活用、農地中間管理機構を活用した農地の集積・集約化を図る。
--------------	--------------------------	--------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市内農地の利用状況の調査行い、所有者の意向確認、関係機関との連携を強化し担い手等との利用調整を図り、農地の集積・集約化を図っていく。また、地域計画策定に伴い作成した目標地図に沿った利用調整を図る。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	4,282	3,399	3,029			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	438	2,256	2,423			
	事業費合計	千円	4,720	5,655	5,452			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）への農地集積率	%	実績値が目標値以上となること	目標値	36.4	39.8	43.2	46.6	50.0
			実績値	36.2				
			達成率	99.5%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	担い手の高齢化や鳥獣被害により農地の遊休化が進む一方で、農業参入法人、新規就農者の増加により農地のニーズも高まってきている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	農地の利用状況を把握し、所有者への意向確認や農業委員及び農地利用最適化推進委員が仲介を行うことにより、担い手等へ農地集積を図る。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	担い手等への農地集積は進んでいるが、効率的な農業を行うためには散在している農地の集約化等今後の課題もある。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	農地利用の最適化を促進するための重要な事業であることから、農地の利用状況や所有者の意向についての確に把握することに努めると共に、関係機関と農業委員及び農地利用最適化推進委員の連携が重要となっている。また、効率的な農業を行うための農地の集約化や今後の就農・規模拡大に伴う農地の確保が課題となっている。
------------	----	-------------------------	---

整理番号
157

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	農業総務費				担当課	農政課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	農政企画係
施策項目	1	農業			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	1	担い手の育成・確保			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	6	1	2	農業総務費	

目的と方針【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。		
事業概要【PLAN】	圃場における農業体験や選果場及び加工場等の見学を通して農業への理解を深め子どもたちの農業観を培います。		
対象【PLAN】	①市内小学生児童 ②市内小学生児童の保護者	意図【PLAN】	「農業」が将来なりたい職業の選択肢となる
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	農業の担い手育成や産地形成維持のため、農業に触れる機会を創出する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		0	504	512			
事業費合計		千円		0	504	512			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達な農業学習事業の開催数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	農業の担い手不足を解消するための、一つの手法であり、普段できない農業体験をすることは、将来の担い手確保や農業への理解を深める上で非常に有効性のあるものである。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	収穫体験を通じて、食の大切さも実感することが出来ており、食育推進も併せて効果を得ている。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	費用抑制のために、JAの協力を得て無料で農業体験を実施している。 なお、給食食材提供は全児童への提供となることから、削減することが困難であるが、国県の新たな財源の確保に努める。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	生産現場と学校給食をつなげることで、子供たちにはよい刺激となっており、今後も継続すべきであるが、運営スタッフの関係上、多くの児童を一堂に介して実施することが出来ないことから、他の組織を巻き込んで大規模に農業体験を実施する体制構築が求められる。

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	就農支援事業					担当課	農政課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	農業担い手係
施策項目	1	農業				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	担い手の育成・確保				事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	6	1	3	就農支援事業		

目的と方針 【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	新規就農者の確保と定着を支援します。
----------------	--------------------

対象 【PLAN】	農業担い手	意図 【PLAN】	農業の担い手が継続的に安定して営農が続けられている。他産業と比べて儲かることができればなお良い。
--------------	-------	--------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	営農継続及び新規就農に必要となる各種補助事業や委託事業を適切に推進する。必要に応じて改善を行う。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	22,354	24,423	55,050			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	1,000	0	6,500			
	一般財源	千円	13,071	14,516	15,879			
	事業費合計	千円	36,425	38,939	77,429			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
認定新規就農者数（延べ）	人	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	4	4	4	4	12
			実績値	3				
			達成率	75.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	国内農業の維持・拡大は、食料自給率向上、食料安全保障の確立、国消国産の観点からも国策の第一である。市民ニーズ（農家ニーズ）はもとより担い手の営農継続と規模拡大は最も優先されるべき施策であり、社会的需要が非常に高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	直接的に補助金を交付する事業が多く、市民満足度（農家満足度）、社会的貢献度は非常に高い。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	就農相談会出展手数料に関して、より安価（無料）で効果の高い県が主催する相談会へ出展する回数を増やすことで経費を約1/3に圧縮させた。次年度以降も経費の節減に努めていく。

saseta	

今後の 方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	新規就農者は毎年コンスタントに確保出来ている。ひとえに当該事業（補助金）の存在と我々の働き掛け、及び懇切丁寧な対応にあると自負している。今後も農家（新規就農希望者を含む）に対して真摯に向き合っていく。
------------	----	-------------------------	--

整理番号
159

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	農業施設維持管理事業					担当課	農林整備課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	農村整備係
施策項目	1	農業					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	農業生産基盤の保全					事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	6	1	7	農業施設維持管理費			

目的と方針【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。		
事業概要【PLAN】	農業用施設の計画的な修繕を行い適正な維持管理を行います。		
対象【PLAN】	①市民	意図【PLAN】	①市民が今後も農業の維持・発展向上を図り、継続的・安定的な農業が実施される。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	農業用施設の現状を適切に把握し、修繕及び復旧を早期に実施する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		18,500	18,520	34,000			
	地方債	千円		9,000	0	0			
	その他	千円		5,105	1,105	1,105			
	一般財源	千円		41,880	28,788	16,352			
	事業費合計	千円		74,485	48,413	51,457			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
農業用施設の維持管理	箇所	実績値が目標値以上となること	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	60				
			達成率	100.0%				

(２)チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市の主要産業である農業の生産基盤を維持するものであり、市民ニーズ、社会的需要及び事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	実施した維持管理により、耕作への支障がなくなるため、有効である。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	早期に現地を確認して、費用対効果を検証し、効率的な修繕を行った。

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	・異常気象により要望が増えていく中で、適時予算確保をし、耕作への影響を最小限にできた。 ・受益者の減少などで、施設の日常管理が不十分なことから、維持管理の費用増が懸念される。

整理番号		事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者
160									

事業名	多面的機能支払交付金事業				担当課	農政課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	農政企画係			
施策項目	1	農業				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	農業生産基盤の保全				事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	6	1	5	多面的機能支払交付金					
目的と方針【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。									
事業概要【PLAN】	平成26年度から、農村地域の過疎化、高齢化、混住化の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって、支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあるため、農村の国土保全、水源涵養、景観形成など、多面的機能発揮のための地域活動や営農に対し支援します。									
対象【PLAN】	国土				意図【PLAN】	国土保全、水源涵養、景観形成により、地域活動や営農環境が保全されている				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	農村の国土保全、水源涵養、景観形成などの多面的機能発揮のため、地域住民で構成されている活動組織が継続して活動できるように支援する。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		37,824	39,710	46,628				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	0				
	一般財源	千円		12,608	13,237	15,569				
	事業費合計	千円		50,432	52,947	62,197				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための共同活動に係る支援組織数		組 織	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	20	20	21	21	21	
				実績値	20					
				達成率	100.0%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				・本事業による農用地の保全に資する取組は、地域住民による共同活動により営まれ、良好な地域社会の維持及び形成に重要な役割を果たしている。 ・農用地の保全については、全国的に喫緊の課題となっている。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				・現在、活動組織数が増加傾向にあり、活動組織の自己評価アンケートの結果からも満足度の高い事業となっている。 ・SDGsの15の目標「陸の豊かさを守ろう」達成に貢献している。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				・国、県、市による協調補助事業である。 ・活動組織の広域化などにより、効率化を図っている。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			活動対象となる地区にも関わらず未実施の地区があるため、事業説明会等を通して、活動組織の増加を目指す。					

整理番号
162

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	鳥獣害対策事業				担当課	農政課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	農業振興係
施策項目	1	農業			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	2	農業生産基盤の保全			事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	6	1	3	農業振興費	

目的と方針【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。		
事業概要【PLAN】	鳥獣害から農業を守るため、捕獲活動や侵入防止柵等に対する補助などを行います。		
対象【PLAN】	農業者	意図【PLAN】	農業者と行政が連携し、適切な鳥獣害対策を行う。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	アンケート等により生息状況の把握を行い、適切な個体数となるよう鳥獣被害対策実施隊による捕獲を行う。また、地域ぐるみで対策を行う地区への補助及び侵入防止柵設置やわな免許取得に対する補助を行う。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		11,969	21,631	3,450			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		28,329	21,298	26,364			
	一般財源	千円		0	0	194			
事業費合計		千円		40,298	42,929	30,008			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
被害額	千円	実績値が目標値以下となること	目標値	7,050	6,600	6,150	5,700	5,250
			実績値	706				
			達成率	100.0%				

(２)チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	近年特にニホンザルの農作物及び生活被害が顕著である。農業者個々での対策は難しく、行政と地域が一体となって行う対策を求められている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	侵入防止柵の設置要望受付から実際に設置するまで、半年以上時間を要することが多い状況であり、できる限り速やかな対応が期待されている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	侵入防止柵について複数見積もりを徴収し、費用削減に努めた。

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市が配布した花火等による追い払いや侵入防止柵の設置等の対策は既に地域へ普及している。 今後は、行政と地域が一体となって対策を行うための仕組みづくりが課題である。

整理番号
163

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	福島大学食農学類連携プログラム事業					担当課	農政課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	農政企画係
施策項目	1	農業					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	3	農産物の生産性の向上・ブランド化の促進					事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業			
	1	6	1	3	福島大学食農学類連携プログラム事業			

目的と方針【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。		
事業概要【PLAN】	福島大学食農学類が実践演習として、本市農業を取り巻く課題の解決や農業再生に向けた地域貢献を進め、農業発展に強い意欲を持つ人材の育成、農家等の協力による本市の農業振興に関わります。		
対象【PLAN】	農場従事者	意図【PLAN】	農業振興及び課題解決
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	大学及び市、並びに農業者が農業振興及び課題について情報を共有し、その解決に向けた協議・活動を行っている。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		849	800	550			
	事業費合計	千円		849	800	550			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
本市農業振興及び課題解決に繋がった件数（延べ）	件	実績値が目標値以上となること	目標値	－	－	－	－	1	
			実績値	－					
			達成率	－					

(２)チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				大学のカリキュラムの一環であり、市が求める事業の必要性とは関連しない。大学と本市は連携協定を締結していることから社会的需要の合意形成は出来ているものと認識している。ただ、事務事業の優先度は高いものとは言えない。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				伊達市の農業の課題解決のため、福島大学の教授および生徒に研究を委託することは有効といえる。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				委託による成果を求める内容とはなっておらず、費用面での縮小を比べる手段がない。				

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		今後は、大学と市が事業の進捗についてこまめに共有を行い、事業期間を３年１クールとし、１年ごとに目標を定めて、調査研究を進めていく。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	農業総務費（再掲）					担当課	農政課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	農政企画係
施策項目	1	農業					計画期間	令和5年度　～　令和7年度
主な取組	4	食の安全・安心と環境に配慮した農業の促進					事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	6	1	2	農業総務費（農業）			

目的と方針 【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	市農産物の安全性を消費者や流通業者へ客観的に説明できる第三者認証GAPの取組を推進するとともに、消費者等の理解促進と商品の供給拡大を促進する情報発信を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	①農業従事者 ②消費者	意図 【PLAN】	①農業従事者にGAPのメリットが正しく認知されることで、GAP取得者が増加しその後継続的に更新すること。 ②消費者の認知度が高まることで、GAP認証品を手にとってもらう機会が増加する。
--------------	----------------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	①農業従事者にGAPのメリットが正しく認知されるよう、研修会や勉強会を実施すること。 ②消費者にGAPを認知してもらうため、GAP認証品を知るきっかけになるイベントを実施する。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	665	758	1,130			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0			
	事業費合計	千円	665	758	1,130			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
消費者等に対するGAPのPR回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	2	2	3	4
			実績値	1				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	農産物の安全性を証明するGAP認証は、生産者にも消費者にも重要なものであり、普及していく必要があることから、市民ニーズ、社会的需要については、十分にある。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	GAP認証を認知してもらうために、生産者向けに研修会や勉強会、消費者向けに講演会やワークショップを実施することは、有効であるとする。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	GAPは今後積極的に普及していくべきものであるため、規模を縮小するものではない。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	R2～R5年度にかけては、消費者向けにGAP認証を知ってもらうような取り組みを行ってきたが、GAP認証の認知度の低さは改善されていないため、今後も消費者向けに取り組みを継続していく。併せて、生産者向けに県がGAP認証取得の支援があることを周知していくことも必要である。
------------	----	-------------------------	--

整理番号		165		事務事業評価表 令和5年度実施事業				部長	課長	係長	担当者
事業名		福島県くだもの消費拡大委員会参画事業				担当課		農政課			
基本目標		4 活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係		農政企画係			
施策項目		1 農業				計画期間		令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組		5 農産物の消費の拡大				事業区分		その他			
予算科目		会計	款	項	目	大事業					
		1	6	1	3	福島県くだもの消費拡大委員会参画事業					
目的と方針【PLAN】		多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。									
事業概要【PLAN】		本市農産物を県内外において広くPRするため、販促イベント等においてミスピーチキャンペーンクルーによるPR活動を実施します。									
対象【PLAN】		農家、消費者（市内外）				意図【PLAN】		本市産農産物を広くPRし、イメージアップによる消費拡大を図る。農産物の消費拡大により農家の所得向上へつなげる。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		本市産農産物のイメージアップ・ブランド力向上を図るため、一大消費地である北海道・東北・関東地方を中心にPR活動に取り組む。また、現在流通が少ない地区においても販路拡大のためのPR活動を行う。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度		
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0					
	都道府県支出金	千円		0	0	0					
	地方債	千円		0	0	0					
	その他	千円		0	0	0					
	一般財源	千円		542	525	546					
事業費合計		千円		542	525	546					
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
PR活動の回数		回	実績値が目標値以上となること	目標値	4	4	5	5	5		
				実績値	4						
				達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】											
評価視点					評価の結果						
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				果樹産地である県北地方をPRすることで、農作物の消費拡大による生産者の所得アップや市の魅力向上につながる。						
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				農業が基幹産業である本市にとっては、有効な手段である。						
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				県北地方の自治体により運営され、効率的な事業展開となっている。						
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		県北地方は桃からあんぽ柿と長期にわたりPRすることが出来ており、今後も継続した事業展開が必要である。例年販売ルートが固定されており、新たな販路拡大の必要性もある。							

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	6次産業化推進事業					担当課	商工観光課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	物産振興係
施策項目	1	農業					計画期間	令和5年度～令和7年度
主な取組	6	6次産業化の促進					事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	6	1	3	農業振興費			

目的と方針 【PLAN】	多彩でおいしい農産物を生み出す特色ある農業のまちとして、農業の維持・発展を図るため、多様な農業振興施策を積極的に推進します。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	本市の豊かな農産物を活用した新たな付加価値を生み出す取り組みを推進し、農業者の所得向上並びに雇用の確保等を生み出します。
----------------	--

対象 【PLAN】	農業生産者	意図 【PLAN】	6次化商品の開発により、市場に出せない規格外の農産物に付加価値を生み出し、新たな産業と農業者の職が向上する。 また、1年を通じておいしい農産物を味わうことができる。
--------------	-------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	豊かな発想と企画力を持ち6次化商品開発に取り組む農業者に対し補助金を交付する。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	3,940	4,000	4,000			
	一般財源	千円	0	0	247			
	事業費合計	千円	3,940	4,000	4,247			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
補助件数	件	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	農業者の所得向上と廃棄される規格外農産物の活用と付加価値を生み出すため、農業者に補助することは優先度が高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	補助金を交付することで、一定程度の事業効果が見えることから有効だと考える。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	補助金は企業版ふるさと納税の寄附金を財源とし、一般財源を抑えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	毎年、いろいろな農業者等から相談を受け、補助金を有効に活用し、新たな6次化商品が生み出されている。要領等により同じ農業者が何度も申請できることから同じ農業者が補助金を申請する課題が残る。
------------	----	-------------------------	---